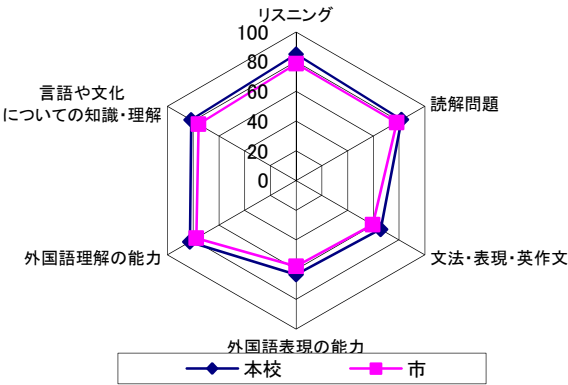


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	85.0	78.7
	読解問題	81.8	78.0
	文法・表現・英作文	65.6	59.4
観点別	外国語表現の能力	63.3	57.8
	外国語理解の能力	82.7	77.6
	言語や文化についての知識・理解	81.6	75.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	この領域の本校の平均正答率は85.0%と宇都宮市の平均を6.0ポイント以上上回る結果であった。 JTEやALTの後についての教科書音読や口頭練習を通してインプット、毎時間行っているペアでの対話練習などのアウトプット活動をしっかり行うことで、音声面に関して定着度が上がっていると考えられる。	引き続き多くのクラスルームイングリッシュを用いた授業を心がける。音声面のインプットのチャンスを多く設定していくことで、数多くの英語の音に慣れ親しむようにする。同時にインプットした言語を発音するアウトプットの場面を数多く設定させていくことで定着を図る。
読解問題	この領域の本校の平均正答率は81.8%と宇都宮市の平均を約4.0ポイント上回る結果であった。 毎回の授業で予習を行うことが習慣化していることと、毎時間提出している自主学習で単語練習を行う生徒が多いことから、読み取りの土台となる語彙力が身についていると考えられる。下位の生徒に関しては、基本的な語彙と文法事項の定着が課題である。	引き続き予習を行わせるとともに、下位の生徒に関しては、継続して単語練習など、基礎学力を定着させるような学習方法を指導する。また、教科書本文を扱う際には、指示詞や代名詞の内容を明らかにしたり、単語とのつながりをいかして本文を読み取る作業を行うなどして、読み取る力の基礎をしっかりと育てていく。
文法・表現・英作文	この領域の本校の平均正答率は65.6%と宇都宮市の平均を6.0ポイント以上上回る結果であった。 ALTとのTTで多く行っている言語活動を楽しみにしており、大変意欲的に活動し、英語に慣れ親しもうとする生徒も多い。音声面での表現力を、書くという力にもつなげていきたい。	言語活動においては、表現することに対する積極性があるが、英作文に関しては、やや消極的な部分もあるので、間違うことを恐れずに取り組むよう指導する。 今後は単語テストによる語彙力の強化と合わせて、問題演習による文法知識の定着を図り、さらなる表現力の向上を目指したい。